

昭和大学同窓会栃木県支部会が10月28日(土)に宇都宮市内のイタヤホテルで行われました。午後7時の定刻になると金子達支部長の開会宣言に続いて、二宮尊徳の栃木県におけるご活躍の歴史が披露されました。神奈川県出身ですが、われわれが承知しているご活躍の遍歴は栃木県におけるもののご披露がありました。つづいて当日来賓として参加された高橋春男医学部同窓会長、中保徹保健医療学部同窓会長、それに佐藤淳一薬学部監事と山元が薬学部の立場でご挨拶をさせて頂きました。薬学部60周年記念会についてもご協力をお願いしてきました。

当日の参加者は、医学部5名、歯学部1名、保健医療学部1名そして薬学部は12名であり、宴も盛り上がると薬学パワーが全開となり、会場に大きな笑い声が響き渡りました。

高橋医学部同窓会長より大学の現状について詳細なご紹介があり、大学の発展の話題で盛り上がりました。また、薬学部関連では学生時代にお世話になった恩師や研究室の皆さんとその友人などの思い出話に花が咲きました。

時間の経過も忘れて話し込んでおりましたが、来年の支部会日程も支部長よりご披露され、来年の再会を約束して散会となりました。

